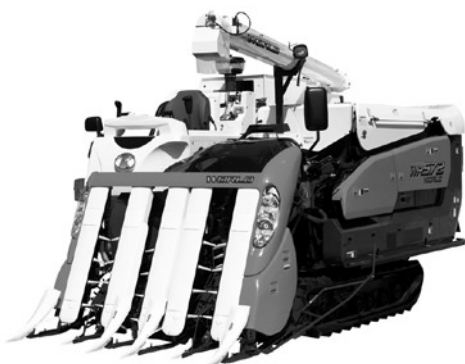


独断

注目商品

REVIEW

高性能・耐久性・低価格 アジア共通設計のコンバイン



希望小売価格8,694,000円（税込）

■お問い合わせ
株式会社クボタ作業機事業推進部
〒556-8601
大阪市浪速区敷津東1-2-47
TEL 06-6648-2101
<http://www.kubota.co.jp/>

これはクボタが時代変化に対応した英断であり快挙と言えるだろう。6月24日付で同社はアジア共通設計のコンバインの新発売を発表した。新機種「エアロスターワールド」では高い基本性能と耐久性を確保しながらも、機能を絞り込んだシンプルなお設計により、現行国内モデルよりも低い価格を実現している。本誌でかねてから伝えていたように、クボタをはじめ国内メーカーが中国で販売しているコンバインは、構造が単純で桁違いに耐久性があ

る。実は日本から中国へコンバインを買い付けに行つてはどうか、と考える向きもあった。しかし中国は人件費が安いので、同国仕様のコンバインにはグレタンクなどが付いておらず、籾袋による人力ハンドリングをするようになっていた。だからそれを日本で使うには改造の必要があったり、また部品供給の問題があったりして、なかなか実現はしていなかった。それがクボタ自らアジア共通設計のコンバインを国内市場に投入しよ

コンバイン 国エアロスターワールド WR572M-C

うというのだ。ただし今回投入されるモデルは中国仕様ではなく、同社が韓国と台湾で培った技術を採用することで、時間・作物・圃場条件などの多様な使用条件に通用する耐久性を確保したものだ。具体的には「刈取搬送チェーン」「刈取駆動部」「クローラ」などに、耐久性の高い部品を採用している。

ニューズリリースによれば、機能を絞りこんだシンプルな仕様により、現行国内モデルのダイナマックスシリーズER572（5条刈・72馬力）と比較して、約10%の低価格を実現したとなっている。そうなる今度は絞り込まれた結果、残った機能と削られた機能が知りたくなる。

同社の作業機事業推進部に問い合わせたところ、絞り込んだのは主に電子系のマイコン機能などで、例えば車速制御や脱穀制御、および刈り高さ制御などだそう。同じマイコ



選別面積の大きい揺動板。

ン機能でも、こぎ深さ制御や車体を水平にする制御などは、これまでのように残してあるとのこと。

このほかの特徴として最高出力72馬力のエンジンを搭載。EGRシステムという排出ガス中の窒素酸化物（NOx）低減や燃費向上を目的とする排気再循環技術により、国内特殊自動車排ガス第2次規制に適合した、環境にやさしいクリーンエンジンに仕上げている。

また作業能率を大幅に向上するために、大径ロングこぎ胴（1130mm）を搭載した。これによりこぎ残しの少ない、高精度な脱穀が行えるようになっていた。さらには選別面積が大きい揺動板（幅800mm×長さ1730mm）により大量の穀粒が流れても、精度を落とさずに効率よく選別できる。こうして機械償却費が下がるなら、日本の農業経営者にとっては朗報だろう。発売は本年9月1日の予定だ。（長谷川竜生）



こぎ残しの少ない大径ロングこぎ胴。